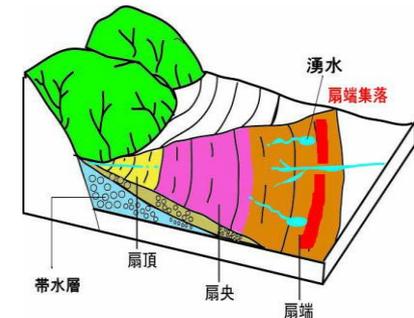




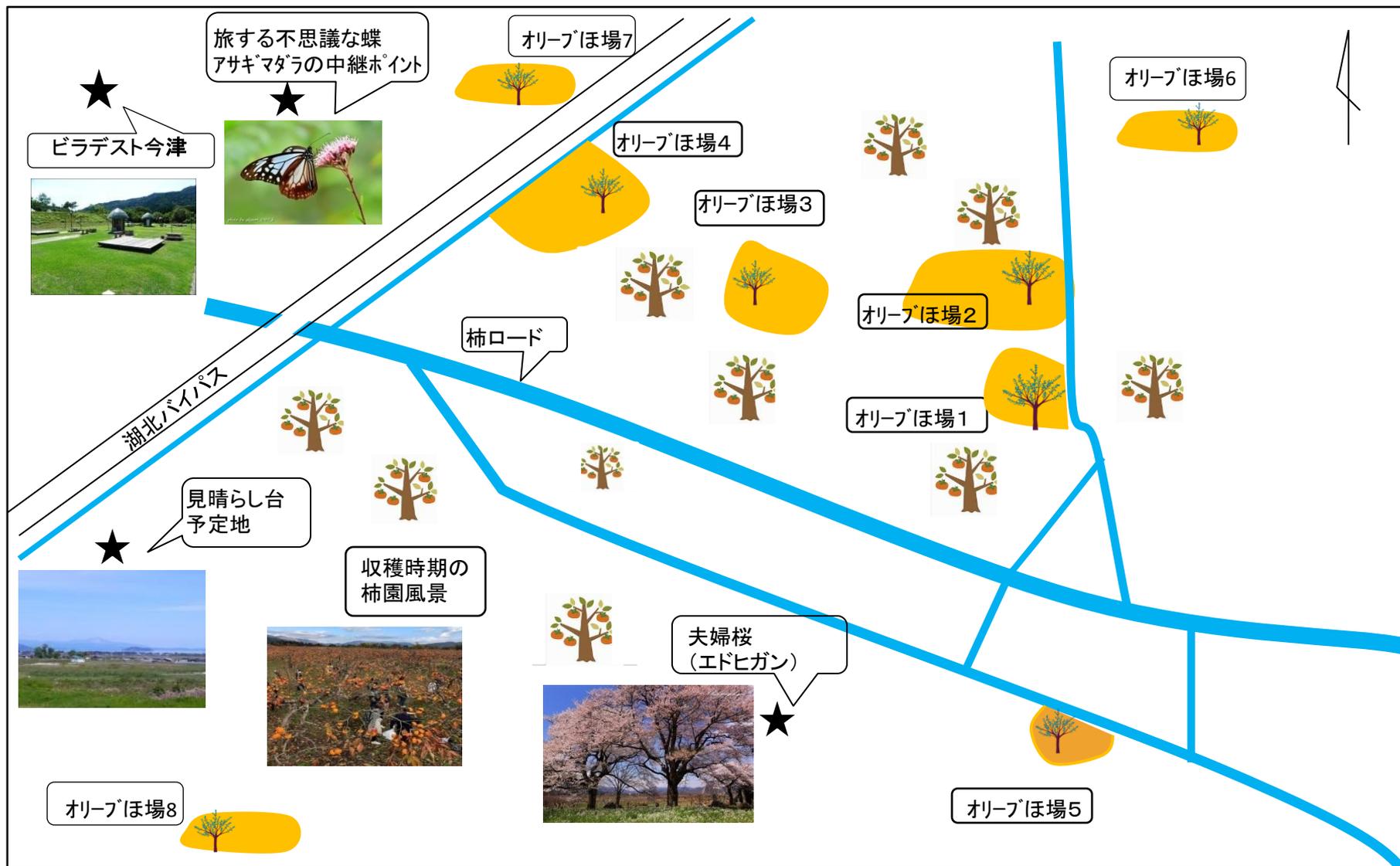
～自然と農業で持続可能な地域づくり～  
南深清水FF倶楽部の取り組み

# 南深清水地域の概要

- 立地 滋賀県の北西部 高島市今津町深清水  
京都方面から1時間20分、福井県小浜方面へ40分
- 現況 人口:158人、世帯数:55世帯、高齢化率:43%以上
- 自然条件 百瀬川の扇状地の扇中央に位置し、水はけの良い農地での果樹(柿)栽培が約100年続く、冬季は重く湿った雪に覆われる地域
- 地域資源 果樹栽培に最適な土壌  
山と琵琶湖、両方に接する四季折々の景観  
豊富なアウトドア・アクティビティ



# 南深清水の資源マップ



# 自己紹介

- ・ 1954年生まれの70歳 元銀行マン
- ・ 深清水の柿農家の長男に生まれるも実質農業経験0、現役時代はもっぱら地域活動不参加組
- ・ 2014年の定年と同時に回ってきた2年間の地域の区長職、いやおうなく地域の課題と向き合うことに。同時期、区の長老から言われた「育ててもらったこの地域に恩返しせよ」の一言でスイッチが入る。
- ・ 趣味のスキーは、スキー指導員の資格を取って35年。現在、箱館山スキースクールにて冬季は日々指導に明け暮れる。
- ・ 2024年7月現在、「南深清水FF倶楽部」の代表としてオリーブ畑の草刈りや害虫の駆除、日々インスタグラムを配信を続けるための写真撮影に田畑を走り回る毎日。

instagram: fukashimizu olive



南深清水FF倶楽部HP



# 地域活動に取り組むきっかけ

長期間耕作放棄された柿畑



整地後の元柿畑



整地後のほ場を有効活用  
するべく立ち上がった初期  
メンバー



# 主な活動内容

## ■ 柿の耕作放棄地へのオリーブの植栽と栽培管理(2018年3月～)

- ・現在8か所のほ場で420本を栽培。



## ■ オリーブ茶・オイルの製造・販売(2021年5月～)

- ・無農薬栽培の剪定枝を乾燥、焙煎してお茶に加工
- ・龍谷大学農学部食料農業システム学科山口ゼミ(しがの支え合いプロジェクト)の学生さんとコラボし、パッケージを作成
- ・オリーブオイルをOEMにて2023年12月県下初で搾油を行う。



## ■ 柿の加工品開発(2022年3月:柿ジュレ製造) (2023年12月:柿ビール製造)

- ・柿の規格外品の有効利用を会員で数年模索、加工品「柿ジュレ」や「柿ビール」をOEMで製造

## ■ 立命館大学食マネジメント学部とのコラボ(しがの支え合いp)

- ・地元の資源を活用した新たな食商品の開発
- ・ウェルビーイングプログラムの開発ほか



# 主な活動内容

## 「柿まつり」の開催

- ・龍谷大学農学部食料農業システム学科山口ゼミ生、立命館大学食マネジメント学部の学生さん、株)Growの協力を得て過去6回、11月中～下旬に柿収穫体験等をメインに開催。



**柿まつり** 第6回

柿収穫や初搾りオリーブオイルで秋を満喫しよう！  
地元のおいしい食とイベントの祭典！

令和5年 11.19 SUN | 10:00-15:00  
会場：南深清水オリーブ第2ほ場  
(滋賀県高島市今津町深清水)

**イベント内容**

- ・柿収穫体験
- ・初搾りオリーブオイルテイasting
- ・アンケート参加抽選会
- ・地元特産品販売
- ・干し柿作り
- ・柿の皮剥きチャレンジ
- ・オリーブリース作り
- ・絵本のひろば
- ・五感で楽しむ瞑想体験
- ・キッチンカー
- ・柿カフェ

※その他外部出店も多数あります！

主催：南深清水FF倶楽部  
後援：高島市 JALレーク遊覧今津堂農経済センター 公社) びわ湖高島観光協会 南深清水区  
※荒天の場合は中止とさせていただきます。

お問い合わせ先  
南深清水FF倶楽部  
☎ 090-4566-4201

FF倶楽部ホームページQR  
fukashimizu-olive instagram

# 主な活動内容

## ■ ツーリズム～地元資源を活かし、農業体験等の要素を盛り込んで健康づくりに役立つ取組

- ・市観光協会、民間宿泊施設からの依頼や農泊者を受入れ、また、住民が未来に希望を持ち、心身ともに健康になる地域を目指しています。春～秋に実施(なす、柿、赤カブ、さつま芋の収穫体験、ホーリーバジルの定植、スワッグ、リース作り等のWS)



## ■ 他イベントへの参画

- ・県内外の催事(主に近鉄/草津店)での特産品販売、地域のPR活動を行う。

# 課題と解決策

## 〈失敗・課題〉

### ●「活性化委員会」の立ち上げ難航

耕作放棄地問題は地域全体の課題であるとの認識から、区組織内に「活性化委員会」の設置を提案するも理解が得られず、あえなく却下。

### ●会員数の減少

活動開始とともに作業が煩雑になり、家業との兼ね合いに不都合を感じた数名の会員が1年後に退会。活動継続に赤信号。

### ●資金の調達

オリーブの植栽本数増加に伴い資材等の購入費が増大し、ボランティアとしての活動が継続できなくなって来た。

「やまの健康推進プロジェクト補助金」3年間  
(2022年度で終了)

## 〈解決策〉

### ●有志10名で設立

・地域の諸問題に対する住民の危機感の無さに落ち込むも、声掛けを続け何とか10名の賛同者と共に「南深清水活性化委員会」を立ち上げる。  
(現在は南深清水FF倶楽部に変更)

### ●オリーブの植栽開始後の変化

・会員減少による活動縮小やむなしの中、会員2名がオリーブ栽培の記事に出会う。  
・植栽開始後SNS等の発信により、オリーブに興味を持った地域外からの3名の入会に繋がった。

### ●補助金の申請と協賛金の募集

・会員の知人等に協賛金・協力金の依頼を行った。  
オリーブ協賛金、柿まつり協賛金  
・県の補助金の申請を行った

その他・・・ 法人化の方向性を検討中  
現在、補助金等で対応策を模索中

# 課題と解決策

## 〈失敗・課題〉

### ●オリーブ栽培に関して

当初より無農薬栽培を試みるも木の生長と共に、害虫被害に悩まされる。  
薬剤による防除を実施するか否かで苦慮。



## 〈解決策〉

●有機対応の薬剤を一部ほ場に散布予定  
無農薬栽培にこだわるあまり、植栽後5年間  
手による害虫の補殺を行ってきたが、本数の増加と共に、人員不足もあり、手が回らなくなって来た為、断腸の思いで、有機薬剤使用を容認。

### ●農業体験等イベントのスタッフ確保

農繁期における農業体験の受け入れに関しては、スタッフの確保が難しく、一部会員に負担が集中しているのが現実。



### ●大学生の農業ボランティアに期待

・龍谷大学・立命館大学の農業ボランティアを募り、都合の付く日を相談しながら、協力を得ている。  
・一般(知人・友人関係)の協力を得て活動中

### ●会員間の情報共有

現在会員数は23名となっているが、実働数は10名程度。全員で情報共有することがままならず、会員同士の意思の疎通にも苦慮している。



### ●毎月1回の全体会開催

・今年度より月1回の全体会を開催し、情報共有や意見交換、懇親会等を行うことに努める。  
・地域外の会員の出席率が高く、地域の中には思いもつかない事を毎回気付かされている。

# 皆さんのお陰で

## ■「やまの健康推進プロジェクト補助金」とのかかわり

- ・当初、単純に柿の耕作放棄地解消目的で始めた活動だったが、活動資金確保目的で申請した県の「やまの健康推進プロジェクト補助金」のお陰で資金だけでなく、事業計画の作成等多くの事を得ることができた。

## ■ふるさと支え合いプロジェクトで大学生との交流

- ・龍谷大学農学部食料農業システム学科山口ゼミや2023年より立命館大学食マネジメント学部吉積ゼミの学生さんとの交流が始まったお陰で、今まで誰も気付かなかった地域の魅力(自然の風景や食等)にたくさん気付くことができた。
- ・「お世辞じゃなく、深清水は又来たいと思う場所」と言ってくれた女子学生の言葉が現在のサイコーのモチベーションとなっている。

## ■移住者とのかかわり

- ・オリーブ栽培を通じて各方面からの取材や協力を受ける内、いつの間にか周りに多くの協力者が集まってきてくれた。
- ・地域の魅力にひかれ、農家民宿を当地で開業(R6年11月)する若者との出会いが出来た。
- ・閉鎖的だった小さな村に地域外からの移住者が新しいワクワクする風を吹かせてくれている。

# これからのこと

## ■ 楽しみながら健康になる地域づくり

- ・関係人口の創出、農家民宿のニーズである農業体験を受入れ
- ・ウェルネスツーリズムの推進、ウェルビーイングプログラムの開発

## ■ 農業の良さを知ってもらう

- ・生産者と消費者の距離を縮める
- ・食の原点を知ってもらい、魅力を伝える
- ・農作物を作るだけでなく、本質とその過程を伝える
- ・地元の野菜を主役に、オリーブオイルを脇役にした  
農業体験＋食育プログラムの開発と実施



## ■ 持続可能な地域づくり

- ・地域住民の所得増大・・・田舎ビジネス、付加価値
- ・若者の定住促進・・・半農半X、リモートワーク、農業に魅力を持つ若者たち
- ・協働・連携の力で育てていく
- ・企業の従業員向けに健康管理、増進に使ってもらえる地域に
- ・近江商人「三方よし」、中江藤樹、比叡山「忘己利他」の考え方で

地域活性化のキーワードは!?



その気!

楽しみながら健康になれる深清水の魅力を発信していく

ご清聴ありがとうございました。

○

